

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94140		社会教育関係事務費 (PTA連合会補助金除く)	担当課	市民活動部生涯学習課			内線
		番組							2350
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費		分野	2	生涯学習		
	項	4	社会教育費		基本施策	1	誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境を作る		
	目	1	社会教育総務費		施策	1	学習機会の充実		
根拠計画									
実施計画事業									
市長公約		—							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どうい状態にしたいのか(意図)	・社会教育の推進を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・社会教育委員会議の開催 ・社会教育推進事務		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・社会教育委員会議の開催 ・社会教育推進事務						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
成果面				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等		達成率(%)		-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等		達成率(%)		-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等		達成率(%)		-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等		達成率(%)		-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等		達成率(%)		-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等		達成率(%)		-
	補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			1,749	1,907	2,624		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			1,749	1,907	2,624	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A÷B)			19	21	29	
		受益者	全市民	(B)	92,861	92,097	91,605	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・社会教育の推進を求める市民ニーズは高い
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・行政、地域、市民等が一体となって社会教育の推進に取り組んでいく必要がある。
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	評価対象外	・社会教育の推進に係る事務費であり、活動・成果指標の設定が困難である。
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている。
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・各種取り組みを通じて、社会教育の推進が図られるなど、総合計画の目標達成にある程度効果があった。
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		6	/	8	→	100点換算	75	点
----	--	---	---	---	---	--------	----	---

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・今後の社会教育のあるべき方向について引き続き検討する必要がある
---	----------------------------------

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・社会教育の推進を図る ・今後の社会教育のあり方についての方向性を出す(議論を踏まえた対応を含む)
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・協働のまちづくりの取り組みを踏まえた社会教育活動の推進体制の方針を決定
-----------------	--------------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	☐	維持・改善	☐	拡大	☐	縮小	☐	廃止の検討	☐	H26完了予定
	・社会教育の推進を図る									

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐	維持・改善	☐	拡大	☐	縮小	☐	廃止の検討	☐	H26完了予定
	(担当課評価に同じ)									

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94200	文化会館運営費				担当課		市民活動部生涯学習課				内線
		専任											2350
予算	会計	1	一般会計				総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして			
	款	9	教育費					分野	4	文化			
	項	4	社会教育費					基本施策	2	あらたな文化の創造と振興を図る			
	目	2	文化会館費					施策	1	文化的環境の醸成			
根拠計画			生涯学習振興計画										
実施計画事業			文化会館管理事業										
市長公約		9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・芸術文化の振興を積極的に支えます										

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	文化会館の適正な管理運営により市民の利用を促進する		
概要	事業の実施手法(手段)	指定管理者による施設の管理運営		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		指定管理者による施設の管理運営						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	
	成果指標	利用件数	件	目標値	6,500	6,500	6,500	
				実績値	6,664	6,703	-	
				算出根拠等	達成率(%)	103	103	-
	成果指標	利用者数	人	目標値	300,000	300,000	300,000	
				実績値	281,105	258,101	-	
				算出根拠等	達成率(%)	94	86	-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
	補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			104,540	104,540	109,995		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)			117	114	72	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			104,423	104,425	109,923	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			372	405	367	
		受益者	利用者数	(B)	281,105	258,101	300,000	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点		評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
①	市民ニーズの確認		・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・文化芸術活動等の活性化に伴い施設利用に対する市民ニーズは高まっている	
				B (1)	ある程度のニーズがある			
				C (0)	ニーズが低い			
②	市が実施する必要性		・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の管理運営である	
				B (1)	一部見直しが必要である			
				C (0)	市が実施する必要性が低い			
③	活動内容の有効性		・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している	
				B (1)	目的とする成果がある程度あがっている			
				C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④	執行方法の効率性		・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を導入し、利用者サービスの向上、コスト縮減に努めている	
				B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
				C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤	政策面における効果		・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・適正な管理運営により、文化芸術活動等が活性化されるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成及び市長公約の実現に効果があった	
				B (1)	ある程度効果があった			
				C (0)	あまり効果が見られなかった			

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題 (「A」評価にするために何が 必要なかを記入)	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある
---	-----------------------

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・施設のより一層の利用促進を図る
-----------------------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況	・指定管理者や施設利用者との意見交換会の開催
---------------------	------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・施設のより一層の利用促進を図る				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・引き続き指定管理者を通じて適切な施設管理を図る必要がある。				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94210		文化会館整備事業費	担当課	市民活動部生涯学習課			内線	
		専任								2350
予算	会計	1	一般会計			総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費				分野	4	文化	
	項	4	社会教育費				基本施策	2	あらたな文化の創造と振興を図る	
	目	2	文化会館費				施策	1	文化的環境の醸成	
根拠計画			生涯学習振興計画							
実施計画事業			文化会館管理事業							
市長公約		9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・芸術文化の振興を積極的に支えます							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	誰もが気軽に利用しやすい快適な生涯学習環境を整備する		
概要	事業の実施手法(手段)	施設の改修整備		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		トイレ改修工事(洋式化等)						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			4,896	25,650	34,000		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	コスト指標	一般財源			4,896	25,650	34,000	
		受益者1件当たり(円) (A／B)			53	279	371	
コスト指標	受益者	全市民 (B)		92,861	92,097	91,605		

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・施設の利便性の向上や安全性の確保に対する市民ニーズは高まっている
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の整備である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	評価対象外	・施設の整備事業であり、事業内容が多岐に渡るため、活動・成果指標の設定が困難である
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト削減等を図りながら、計画的に整備を行っている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・施設の整備により、利便性の向上や安全性の確保が図られるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成及び市長公約の実現に効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		7	/	8	→	100点換算	88	点
----	--	---	---	---	---	--------	----	---

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価するために何が必要なのかを記入)	・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて、計画的に整備を行う必要がある ・施設の将来的なあり方を検討する必要がある
---------------------------------------	---

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・計画的に整備を実施する ・施設の将来的なあり方についての検討を継続する
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けた整備 ・市民ニーズ、施設の利用状況、整備の緊急性等を踏まえた施設整備計画の見直し ・定期報告等にもとづく施設整備計画の見直し ・施設の将来的なあり方についての検討
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	☐ H26完了予定
	・計画的に整備を実施する ・施設の将来的なあり方について検討する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	☐ H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94325		公民館管理費	担当課	市民活動部生涯学習課			内線
		専任							2349
予算	会計	1	一般会計		総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費			分野	2	生涯学習	
	項	4	社会教育費			基本施策	1	誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境づくり	
	目	3	公民館費			施策	2	学習施設の整備	
根拠計画		生涯学習振興計画							
実施計画事業		公民館運営事業・公民館維持修繕・改修事業							
市長公約									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	公民館の適正な管理運営により市民の利用を促進する		
概要	事業の実手法(手段)	指定管理者による施設の管理運営		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		指定管理者による施設の管理運営						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
成果面	活動指標	公民館利用登録団体数	件	目標値	230	230	230	
				実績値	227	222	-	
				算出根拠等	達成率(%)	99	97	-
	成果指標	公民館利用者数	人	目標値	85,000	85,000	85,000	
				実績値	88,221	101,754	-	
				算出根拠等	達成率(%)	104	120	-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
算出根拠等				達成率(%)			-	
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			46,239	44,133	43,819		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)			884	918	853	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			45,355	43,215	42,966	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			524	434	516	
		受益者	施設利用者	(B)	88,221	101,754	85,000	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・社会教育活動等の活性化に伴い施設利用に対する市民ニーズは高まっている。 ・施設の利便性の向上や安全性の確保に対する市民ニーズは高まっている	
			B (1)	ある程度のニーズがある			
			C (0)	ニーズが低い			
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	B	・市有施設の管理運営である	
			B (1)	一部見直しが必要である			
			C (0)	市が実施する必要性が低い			
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	・活動・成果指標の目標値を十分に達成している	
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている			
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を導入し、利用者サービスの向上、コスト縮減に努めている	
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・適正な管理運営により、社会教育活動等が活性化されるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成に効果があった	
			B (1)	ある程度効果があった			
			C (0)	あまり効果が見られなかった			

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにした課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある ・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて、計画的に整備を行う必要がある ・地区公民館の移譲等をすすめる必要がある
--------------------------------------	---

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・施設のより一層の利用促進を図る ・計画的に整備を実施する ・地区公民館の移譲等についての協議が整った施設から順次移譲等を行う
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・指定管理者や施設利用者との意見交換会の開催 ・施設の定期報告等にもとづく施設安全整備計画の策定 ・地区公民館の移譲等に向けた関係機関等との協議
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	☐ H26完了予定
	・施設のより一層の利用促進を図る ・地区公民館の移譲等についての協議が整った施設から順次移譲等を行う				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	☐ H26完了予定
	・指定管理施設については、引き続き指定管理者を通じて適切な施設管理を図る必要がある。 ・地区公民館の移譲等についての協議が整った施設から順次移譲等を行う必要がある。				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94400		女性青少年会館等管理費		担当課		市民活動部 生涯学習課		内線	
番 号										2349	
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして				
	款	9	教育費		分野	5	地域				
	項	4	社会教育費		基本施策	1	地域に住み続けたいという思いを育てる				
	目	4	女性青少年推進費		施策	1	家庭を大切にするこころづくり				
根拠計画			生涯学習振興計画								
実施計画事業			女性青少年会館管理事業								
市長公約											

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・女性青少年会館の適正な管理運営により市民の利用を促進する		
概要	事業の実施手法(手段)	・指定管理者による施設の管理運営		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		指定管理者による施設の管理運営						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	
	成果指標	利用件数	件	目標値	2,800	2,800	2,800	
				実績値	2,824	2,853	-	
				算出根拠等	達成率(%)	101	102	-
	成果指標	利用者数	人	目標値	23,000	23,000	23,000	
				実績値	23,835	21,933	-	
				算出根拠等	達成率(%)	104	95	-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
	補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			15,756	16,549	16,140		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)			18	18	14	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			15,738	16,531	16,126	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			661	755	702	
		受益者	施設利用者 (B)		23,835	21,933	23,000	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・女性青少年の活動の拠点として施設利用に対する市民ニーズは高い
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の管理運営である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	A	・活動・成果指標の目標値を十分に達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を導入し、利用者サービスの向上、コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・適正な管理運営により、女性青少年活動が活発化されるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成に効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある
---------------------------------------	-----------------------

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・施設のより一層の利用促進を図る
-----------------------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・指定管理者や施設利用者との意見交換会の開催
-----------------	------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	☐ H26完了予定
	・施設のより一層の利用促進を図る				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	☐ H26完了予定
	・引き続き指定管理者を通じて適切な施設管理を図る必要がある。				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94405		勤労青少年ホーム運営費	担当課	市民活動部 生涯学習課		内線
		番種						2349
予算	会計	1	一般会計		総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして
	款	9	教育費			分野	7	労働
	項	4	社会教育費			基本施策	1	誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する
	目	4	女性青少年推進費			施策	2	勤労者支援の充実
根拠計画			生涯学習振興計画					
実施計画事業			勤労青少年ホーム運営事業					
市長公約								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	勤労青少年(15歳〜35歳)	対象者数	17,758 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	勤労青少年ホームを活用した各種事業等の実施により青少年の健全育成を図る		
概要	事業の実手法(手段)	指定管理者による施設の管理運営		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績		指定管理者による施設の管理運営				
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	教養講座開催数	回	目標値	300	300	300
				実績値	349	284	-
				算出根拠等	達成率(%)	116	95
	成果指標	教養講座参加人数	人	目標値	3,800	3,800	3,800
				実績値	3,811	3,334	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	88
	活動指標	クラブ数	件	目標値	15	15	15
				実績値	15	15	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	成果指標	クラブ活動件数	件	目標値	500	500	500
				実績値	518	467	-
				算出根拠等	達成率(%)	104	93
	成果指標	クラブ活動人数	人	目標値	2,000	2,000	2,000
				実績値	2,900	2,307	-
				算出根拠等	達成率(%)	145	115
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出 (千円) (A)			4,090	4,090	4,205	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
		一般財源			4,090	4,090	4,205
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			609	725	725
		受益者	教養講座参加人数、クラブ活動人数 (B)	6,711	5,641	5,800	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・勤労青少年ホームを活用した学習や交流の機会を求める市民ニーズは高い
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の管理運営である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を導入し、利用者サービスの向上、コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・適正な管理運営により、勤労青少年の教養の向上や活発な交流が図られるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成に効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある
---------------------------------------	-----------------------

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・施設のより一層の利用促進を図る
-----------------------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・指定管理者や施設利用者との意見交換会の開催
-----------------	------------------------

次年度の実施方針 (担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・施設のより一層の利用促進を図る									

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・引き続き指定管理者を通じて適切な施設管理を図る必要がある。									

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94420	成人式事業費	担当課	市民活動部生涯学習課			内線
番組								2349
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費		分野	5	地域	
	項	4	社会教育費		基本施策	1	地域に住み続けたいという思いを育てる	
	目	4	女性青少年推進費		施策	1	家族を大切にするこころづくり	
根拠計画								
実施計画事業			成人式等開催事業					
市長公約			7	・将来を担う子どもを守り育てます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	平成26年度に満20歳となる市民及び市内中学校卒業生	対象者数	949 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・「新成人を祝うつどい」を開催する		
概要	事業の実施手法(手段)	・12中学校区で実行委員会を組織し、式典を開催		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・12中学校区で実行委員会を組織し、式典を開催					
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	成果指標	成人式参加者数	人	目標値	830	850	850
				実績値	844	861	-
		算出根拠等		達成率(%)	102	101	-
	成果指標	「はたちの思い一詩読」応募数	点	目標値	300	300	300
				実績値	394	348	-
		算出根拠等		達成率(%)	131	116	-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
	補足事項						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出 (千円) (A)			3,000	3,000	3,000	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
		一般財源			3,000	3,000	3,000
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			3,268	3,165	3,161
		受益者	満20歳となる市民及び市内中学校 (B)		918	948	949

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・人生の節目として、成人式開催に対する市民ニーズは高い
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・次代を担う若者の成人をお祝いし、社会的責任等の自覚と地域への愛着を促す事業であり、市が事業主体となって取り組む必要がある
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・地域毎に設立される実行委員会が、コスト面を含めて地域にあった手作りの成人式を創意工夫を凝らしながら実施している
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・成人式の開催を通じて、社会的責任等の自覚や地域への愛着が深まるなど、総合計画の目標達成及び市長公約の実現にある程度効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・より有意義な成人式となるよう、開催手法等について協議する必要がある							

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・今後も創意工夫しながら実施する必要がある
-----------------------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況	・実行委員会等との協議
---------------------	-------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・前年度の実施状況を踏まえ「新成人を祝うつどい」を開催する									

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・今後も創意工夫しながら実施する必要がある。									

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94515		図書館管理費	担当課	市民活動部生涯学習課			内線
		専任							
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費		分野	2	生涯学習		
	項	4	社会教育費		基本施策	1	誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる		
	目	5	図書館費		施策	1	学習機会の充実 2 学習施設の整備		
根拠計画				生涯学習振興計画					
実施計画事業				読書推進事業／図書館運営事業／図書館図書整備事業					
市長公約									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	図書館の適正な管理運営により市民の利用を促進する		
概要	事業の実施手法(手段)	指定管理者による施設の管理運営		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績		指定管理者による施設の管理運営			
			指標名	単位	目標・実績	
	活動指標	蔵書数	点	目標値	310,000	320,000
				実績値	310,652	318,592
		算出根拠等		達成率(%)	100	100
	成果指標	図書館利用登録者数	人	目標値	51,000	52,000
				実績値	51,090	52,839
		算出根拠等		達成率(%)	100	102
	成果指標	来館者数	人	目標値	380,000	380,000
				実績値	436,174	465,506
		算出根拠等		達成率(%)	115	123
	成果指標	貸出点数	点	目標値	580,000	580,000
				実績値	553,883	532,255
		算出根拠等		達成率(%)	95	92
				目標値		
				実績値		-
		算出根拠等		達成率(%)		-
コスト面			補足事項			
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出(千円)(A)		165,495	164,888	167,350	
	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		165,495	164,888	167,350	
	受益者1件当たり(円)(A/B)		379	354	440	
コスト指標	受益者		(B)	436,174	465,506	380,000

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・蔵書の整備や読書推進事業等図書館機能の充実を求める市民ニーズは高まっている
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の管理運営である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがってないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を導入し、利用者サービスの向上、コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・適正な管理運営により、知の拠点施設としての機能の充実が図られるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成に効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・利用者のニーズに応じた資料の購入や配本、レファレンスサービスの向上など、施設のより一層の利用促進を図る必要がある
--	---

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・施設のより一層の利用促進を図る
----------------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・指定管理者や施設利用者との意見交換会の開催
-----------------	------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・施設のより一層の利用促進を図る				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・引き続き指定管理者を通じて適切な施設管理を図る必要がある。				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94600		文化振興事務費	担当課	市民活動部生涯学習課		内線
		番組						2349
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費		分野	4	文化	
	項	4	社会教育費		基本施策	2	あらたな文化の創造と振興を図る	
	目	6	文化振興費		施策	1	文化的環境の醸成	
根拠計画			生涯学習振興計画					
実施計画事業								
市長公約		9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・文化芸術の振興を積極的に支えます					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	文化芸術の振興を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・文化振興事務		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績		・文化振興					
	指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	飛騨春慶楽器による演奏会等		回	目標値			7
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			134	126	3,690		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					1,500	
		一般財源			134	126	2,190	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			1	1	40	
		受益者	全市民 (B)		92,861	92,097	91,605	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・心の中や生活に潤いと豊かさを求める市民意識の変化のなか、文化芸術の振興を求める市民ニーズは高まっている
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市、関係団体、市民等が一体となって文化芸術の振興を図る必要がある
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	評価対象外	・文化振興に係る事務費であり、活動・成果指標の設定が困難である
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・各種取り組みを通じて、あらたな文化の創造と振興が図られるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成及び市長公約の実現にある程度効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		6	/	8	→	100点換算	75	点
----	--	---	---	---	---	--------	----	---

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・文化芸術の振興を図る
---	-------------

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・目的や内容が重なる既存事業については、事業のあり方や実施方法等について、整理する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・文化芸術の振興を図る ・文化芸術振興指針にもとづき事業を実施する
-----------------	--------------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	☐ 維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・文化芸術の振興を図る ・文化芸術振興指針にもとづき事業を実施する								

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。								

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94605		美術展覧会等開催事業	担当課	市民活動部 生涯学習課		内線
		番組						2349
予算	会計	1	一般会計		総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費			分野	4	文化
	項	4	社会教育費			基本施策	2	あらたな文化の創造と振興を図る
	目	6	文化振興費			施策	1	文化的環境の醸成
根拠計画		生涯学習振興計画						
実施計画事業		美術展覧会等開催事業						
市長公約		9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・文化芸術の振興を積極的に支えます					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	美術展覧会等の開催を通じて、文化芸術の振興を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	公募美術展の開催 市有美術品の保存・展示		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・公募美術展の開催 ・市有美術品の保存、展示						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	
	活動指標	市美術展覧会の応募点数	点	目標値	300	300	300	
				実績値	333	333	-	
				算出根拠等	達成率(%)	111	111	-
	成果指標	市美術展覧会の入場者数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	
				実績値	2,019	2,121	-	
				算出根拠等	達成率(%)	101	106	-
	活動指標	飛騨高山現代木版画ビエンナーレの応募点数(一般)	点	目標値	200	—	200	
				実績値	103	隔年実施	-	
				算出根拠等	達成率(%)	52	-	-
	成果指標	飛騨高山現代木版画ビエンナーレの応募点数(小中学生)	点	目標値	300	—	300	
				実績値	199	隔年実施	-	
				算出根拠等	達成率(%)	66	-	-
	成果指標	飛騨高山現代木版画ビエンナーレの入場者数	人	目標値	1,000	—	1,000	
				実績値	1,362	隔年実施	-	
				算出根拠等	達成率(%)	136	-	-
				目標値				
			実績値			-		
	算出根拠等		達成率(%)			-		
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出(千円)(A)			5,886	2,391	7,000		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)			244	0	500	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			5,642	2,391	6,500	
	コスト指標	受益者1件当たり(円)(A／B)			63	26	76	
		受益者	全市民	(B)	92,861	92,097	91,605	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・文化芸術の市民生活への浸透に伴い、美術作品の発表の場や鑑賞機会の創出を求める市民ニーズは高まっている
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・美術展覧会等の開催は、文化芸術の振興において、大きな効果が期待されるため、市が事業主体となって実施する必要がある
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	B	・活動・成果指標の目標値達成に向け検討している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・美術展覧会等の開催を通じて、文化芸術に対する意識が醸成されるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成及び市長公約の実現にある程度効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		7	/	10	→	100点換算	70	点
----	--	---	---	----	---	--------	----	---

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・より多くの市民に親しまれる展覧会等となるよう、あり方等について検討する必要がある ・市有美術品の活用を図る必要がある
--	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・市美術展覧会(毎年)、木版画ビエンナーレ(隔年)及び地域振興特別予算で実施する臥龍桜日本画大賞展(毎年)を合わせた3つの公募展の関連や位置づけについて整理する必要がある。 ・事業の委託化や市民を巻き込んだ実施方法等について、引き続き検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・美術展覧会あり方検討委員会で検討(実施方法、3つの美術展の関連や位置づけ等) ・市有美術品の市施設での展示拡大 ・飛騨高山現代木版画ビエンナーレの開催時期の検討
-----------------	---

次年度の 実施方針 (担当課評価)	☐	維持・改善	☐	拡大	☐	縮小	☐	廃止の検討	☐	H26完了予定
	・美術展覧会等の開催を通じて、文化芸術の振興を図る ・美術展覧会のあり方について検討する(実施方法の見直し等) ・市有美術品の有効活用を図る									

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐	維持・改善	☐	拡大	☐	縮小	☐	廃止の検討	☐	H26完了予定
	・市美術展覧会(毎年)、木版画ビエンナーレ(隔年)及び地域振興特別予算で実施する臥龍桜日本画大賞展(毎年)を合わせた3つの公募展の関連や位置づけについて整理する必要がある。 ・事業の委託化や市民を巻き込んだ実施方法等について、引き続き検討する必要がある。									

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94610		文化芸術鑑賞事業費	担当課	市民活動部生涯学習課			内線
		専任							2350
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費		分野	4	文化		
	項	4	社会教育費		基本施策	2	あらたな文化の創造と振興を図る		
	目	6	文化振興費		施策	1	文化的環境の醸成		
根拠計画			生涯学習振興計画						
実施計画事業			文化振興自主事業						
市長公約		9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・文化芸術の振興を積極的に支えます						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・優れた文化芸術にふれる機会の充実を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・小学校芸術鑑賞事業の開催 ・市民文化芸術鑑賞事業の開催 ・子ども夢創造事業の開催		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・小学校芸術鑑賞事業の開催 ・市民文化芸術鑑賞事業の開催						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
活動指標	小学校芸術鑑賞事業の実施回数		回	目標値	2	2	2	
				実績値	2	2	-	
成果指標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-	
活動指標	小学校芸術鑑賞事業の参加者数(4, 6年生)		人	目標値	1,900	1,900	1,900	
				実績値	1,956	1,892	-	
成果指標	算出根拠等			達成率(%)	103	100	-	
活動指標	市民文化芸術鑑賞事業の実施回数		回	目標値	10	10	10	
				実績値	11	11	-	
成果指標	算出根拠等			達成率(%)	110	110	-	
活動指標	市民文化芸術鑑賞事業への参加者数		人	目標値	8,000	8,000	8,000	
				実績値	5,837	7,665	-	
成果指標	算出根拠等			達成率(%)	73	96	-	
活動指標				目標値				
				実績値			-	
成果指標	算出根拠等			達成率(%)			-	
活動指標				目標値				
				実績値			-	
成果指標	算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			32,018	32,700	33,550		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		其他特定財源(国・県支出金・起債等)				200	1,000	
		一般財源			32,018	32,500	32,550	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A÷B)			4,109	3,422	3,389	
		受益者	参加者数	(B)	7,793	9,557	9,900	

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94615	文化振興支援事業	担当課	市民活動部 生涯学習課			内線
		番組						
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費		分野	4	文化	
	項	4	社会教育費		基本施策	2	新たな文化の創造と振興を図る	
	目	6	文化振興費		施策	1	文化的環境の醸成	
根拠計画			生涯学習振興計画					
実施計画事業			文化振興支援事業					
市長公約		9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・文化芸術の振興を積極的に支えます。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	各種文化団体	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・市民の自主的な文化芸術活動を支援する		
概要	事業の実施手法(手段)	・文化芸術活動への支援 ・飛騨高山YANSA21フェスティバルへの支援		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績		・文化芸術活動への支援(拡大) ・飛騨高山YANSA21フェスティバルへの支援					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	
	活動指標	文化振興事業補助団体		団体	目標値	12	12	20
					実績値	14	10	-
		算出根拠等			達成率(%)	117	83	-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
		実績値				-		
算出根拠等		達成率(%)				-		
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			2,882	4,924	8,800		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			2,882	4,924	8,800	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			205,857	492,400	440,000	
		受益者	文化振興事業補助団体 (B)		14	10	20	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・市民の自主的な文化芸術活動への支援を求める市民ニーズは高まっている
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市民の自主的な文化芸術活動を促すため、市が主体となって、その活動を支援する必要がある
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	A	・個々の事業の規模が大きくなり、内容が充実するなかで、十分な成果があがっている
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・支援のあり方について検討している
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・市民の自主的な文化芸術活動への支援を通じて、その活動が活発化されるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成及び市長公約の実現にある程度効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題 (FA)評価にするために何が 必要なのかを記入)	・市民の文化芸術活動に対する支援のあり方等について検討する必要がある ・YANSA21フェスティバルが市民に息づいたものとなるよう、事業のあり方について検討する必要がある
---	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・文化振興事業支援補助金については、飛騨高山文化芸術祭における市民提案プロジェクトとの住み分けを明確にし、今後のあり方を整理する必要がある ・YANSA21フェスティバルについて、今後の事業のあり方について検討する必要がある
-----------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況	・YANSA21フェスティバルが市民に息づいたものとなるよう、事業のあり方について検討
---------------------	---

次年度の 実施方針 (担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・市民の自主的な文化芸術活動を支援する ・YANSA21フェスティバルを市民に息づく事業として支援する。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・YANSA21フェスティバルについて、今後の事業のあり方について検討する必要がある。				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94620	文化伝承館管理事業費			担当課		市民活動部生涯学習課			内線
		専任									
予算	会計	1	一般会計			総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費				分野	4	文化		
	項	4	社会教育費				基本施策	2	新たな文化の創造と振興を図る		
	目	6	文化振興費				施策	1	文化的環境の醸成		
根拠計画			生涯学習振興計画								
実施計画事業											
市長公約		9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・文化芸術の振興を積極的に支えます。								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	文化伝承館の適正な管理運営により市民の利用を促進する		
概要	事業の実施手法(手段)	指定管理者による施設の管理運営		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		指定管理者による施設の管理運営						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	
	成果指標	利用件数	件	目標値	100	100	100	
				実績値	127	83	-	
				算出根拠等	達成率(%)	127	83	-
	成果指標	利用者数	人	目標値	3,500	3,500	3,500	
				実績値	3,190	1,394	-	
				算出根拠等	達成率(%)	91	40	-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
算出根拠等				達成率(%)			-	
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			3,650	3,650	3,770		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			3,650	3,650	3,770	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			1,144	2,618	1,077	
受益者		利用者数	(B)	3,190	1,394	3,500		

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・お茶会や歌会、日本舞踊など、施設に適した利用ニーズがある
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の管理運営である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を導入し、利用者サービスの向上、コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・適正な管理運営により、市民の利用が促進されるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成及び市長公約の実現に効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある
---------------------------------------	-----------------------

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・施設のより一層の利用促進を図る
-----------------------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・指定管理者や施設利用者との意見交換会の開催
-----------------	------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・施設のより一層の利用促進を図る				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・引き続き指定管理者を通じて適切な施設管理を図る必要がある。				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94900		生涯学習推進事業費	担当課		市民活動部生涯学習課		内線		
		専任							2349		
予算	会計	1	一般会計		総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして			
	款	9	教育費			分野	2	生涯学習			
	項	4	社会教育費			基本施策	1	誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる			
	目	9	生涯学習推進費			施策	1	学習機会の充実			
根拠計画			生涯学習振興計画								
実施計画事業			生涯学習推進事業費								
市長公約											

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	生涯学習機会の提供と充実を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	生涯学習講座の開催 子ども夢創造事業の開催		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		生涯学習講座の開催						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
成果面	活動指標	講座開催数	件	目標値	20	20	20	
		実績値		11	9	-		
		算出根拠等		達成率(%)	55	45	-	
	成果指標	講座受講者数	人	目標値	800	1,000	1,000	
		実績値		1,190	649	-		
		算出根拠等		達成率(%)	149	65	-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-		
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-		
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-		
	補足事項							
	コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
		歳出 (千円) (A)			900	2,189	3,030	
財源内訳		受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)				200	1,000	
		一般財源			900	1,989	2,030	
コスト指標		受益者1件当たり(円) (A／B)			756	3,373	3,030	
	受益者	講座受講者数 (B)		1,190	649	1,000		

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・自己の知識・技術・経験を高める学習や地域づくりにつながる学習など、生涯学習機会の提供と充実を求める市民ニーズは高まっている
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	B	・市、民間、地域等の適正な役割分担のもと、生涯学習に対する関心の高まりや多様化する学習ニーズに対応した事業を展開していく必要がある
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・生涯学習講座の開催を通じて、学習意欲の高揚が図られるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成にある程度効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		6	/	10	→	100点換算	60	点
----	--	---	---	----	---	--------	----	---

分析・評価で明らかにになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・生涯学習機会の提供と充実を求める市民ニーズに対応した生涯学習講座を開催する必要がある ・子どもたちが科学やものづくりを通じて将来の夢を育むことができるような事業展開が必要である
---	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・市民ニーズを確認するとともに、事業のあり方について、検討する必要がある ・子ども夢創造事業の効果分析をしっかりと行う必要がある
-----------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・生涯学習機会の提供と充実を図る ・子ども夢創造事業を実施する
-----------------	------------------------------------

次年度の実施方針 (担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	☐ H26完了予定
	・生涯学習機会の提供と充実を図る				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	☐ H26完了予定
	・市民ニーズを確認するとともに、事業のあり方について、検討する必要がある。 ・子ども夢創造事業の効果分析を行う必要がある。				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94910		放送大学高山学習センター運営費	担当課	市民活動部生涯学習課			内線
		専任							2350
予算	会計	1	一般会計		総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費			分野	2	生涯学習	
	項	4	社会教育費			基本施策	1	誰もが生涯を通じて自ら学ぶことのできる環境をつくる	
	目	9	生涯学習推進費			施策	1	学習機会の充実	
根拠計画			生涯学習振興計画						
実施計画事業			放送大学高山学習センター運営事業						
市長公約									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	15歳以上の市民	対象者数	79,051 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・放送大学岐阜学習センター高山分室を適正に管理運営する		
概要	事業の実施手法(手段)	・管理運営		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・管理運営						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
活動指標	学生数		人	目標値	80	80	80	
				実績値	73	72	-	
	算出根拠等			達成率(%)	91	90	-	
成果指標	新規入学者数		人	目標値	10	10	10	
				実績値	14	10	-	
	算出根拠等			達成率(%)	140	100	-	
活動指標	放送大学セミナーの開催		回	目標値	2	2	2	
				実績値	2	2	-	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-	
成果指標	放送大学セミナーの参加者数		人	目標値	60	60	60	
				実績値	43	42	-	
	算出根拠等			達成率(%)	72	70	-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値			-	
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			647	646	700		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			647	646	700	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			8,863	8,972	8,750	
		受益者	学生数	(B)	73	72	80	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・自分のライフスタイルに合わせて学びたいことを学ぶことができる放送大学に対する市民ニーズは高い
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市民の受講の便宜を図るため、放送大学岐阜学習センターの高山分室として設置されたものである
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・放送大学岐阜学習センター高山分室の設置を通じて、学習機会の拡充が図られるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成に効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・受講しやすい環境づくりと利用拡大に向けた広報活動の充実を図る必要がある
--	--------------------------------------

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・施設のより一層の利用促進を図る
----------------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・セミナーの開催 ・市民への周知啓発
-----------------	-----------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・より一層の利用促進を図る				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		94935		生涯学習施設等管理事業費	担当課		市民活動部生涯学習課		内線
		専任							2350
予算	会計	1	一般会計		総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費			分野	2	生涯学習	
	項	4	社会教育費			基本施策	1	誰もが生涯を通して自ら学ぶことのできる環境づくり	
	目	9	生涯学習推進費			施策	2	学習施設の整備	
根拠計画			生涯学習振興計画						
実施計画事業			生涯学習施設等管理事業						
市長公約									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	生涯学習施設の適正な管理運営により市民の利用を促進する		
概要	事業の実手法(手段)	指定管理者による施設の管理運営		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		指定管理者による施設の管理運営					
指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	
成果指標	利用人数(飛騨プラネタリウム)	人	目標値	4,500	4,500	4,500	
			実績値	5,604	6,736	-	
	算出根拠等		達成率(%)	125	150	-	
成果指標	利用人数(丹生川文化ホール)	人	目標値	22,000	22,000	22,000	
			実績値	23,103	23,348	-	
	算出根拠等		達成率(%)	105	106	-	
成果面	成果指標	利用人数(国府文化ホール)	人	目標値	15,000	15,000	15,000
				実績値	13,035	12,796	-
		算出根拠等		達成率(%)	87	85	-
			人	目標値			
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値			
			実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-
			人	目標値			
			実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-
	補足事項						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)		27,746	28,400	30,341		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)	665	1,047	617		
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
		一般財源	27,081	27,353	29,724		
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)	665	1,216	731		
		受益者 施設利用者 (B)	41,742	23,348	41,500		

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・生涯学習に対する意識の高まりに伴い施設利用に対する市民ニーズは高まっている ・施設の利便性の向上や安全性の確保に対する市民ニーズは高まっている
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の管理運営である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を導入し、利用サービスの向上、コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・適正な管理運営により、生涯学習に対する意識が高まるなど、総合計画や生涯学習振興計画の目標達成に効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある ・国府文化ホールの指定管理者制度導入をすすめる必要がある ・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて、計画的に整備を行う必要がある
---------------------------------------	---

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・施設の老朽化、利用頻度等を考慮し、施設の統廃合も視野に入れ、将来的な施設のあり方について、検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・指定管理者や施設利用者との意見交換会の開催 ・国府文化ホールの指定管理者制度導入の検討 ・施設の定期報告等にもとづく施設安全整備計画の策定
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・施設のより一層の利用促進を図る ・計画的に整備を実施する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・施設の老朽化、利用頻度等を考慮し、施設の統廃合も視野に入れ、将来的な施設のあり方について、検討する必要がある。				